

平成 26 年度 事業報告書

I 概 況

平成 26 年は、安倍政権による“アベノミクス”効果で株価は 2 万円台をうかがうまでに大幅な回復基調にあり、為替レートも 1 ドル 70 円から 120 円へ円安が進み、トヨタ、NTT をはじめ多くの大企業が、空前の利益を計上している。しかし、26 年 4 月の消費税 8%への増税で個人消費の減少等で景気は冷え込んでしまった。GDP（国内総生産）は、平成 26 年の政府目標 1.4%成長に対し、マイナス 0.5%（実質）となっている。名目は政府目標 3.3%に対し、1.7%にとどまる見通し。「地方創生」の経済政策は未だ功を奏せず、多くの中小企業はアベノミクスの恩恵に浴していない。一方、12 月の総選挙で安倍政権は信任された形で安定した政権運営が続いている。TPP への参加、防衛問題での課題は多いが、経済優先の政策は国民の支持を得ている。デフレ克服という政策目標は、インフレターゲット 2%の達成も現実味を帯び、引き続き成長戦略のいわゆる「三本の矢」による効果が期待されているが、金融、財政の後の民間投資を喚起する成長戦略で足踏み状態にある。雇用環境では、失業者数が 57 ヶ月連続で減少し、27 年 2 月で失業率 3.5%と改善されている。しかし、私たち中小印刷業経営者としては、極端な円安、諸物価・原材料費の上昇は、経営に大きな負担がかかってきている。

また東京では、2020 年東京オリンピック・パラリンピック招致と 12 月に舛添要一都知事が発表した“東京を世界一の都市にする”という「東京都長期ビジョン」により、都政の新しい方針が打ち出された。

印刷産業は、平成 24 年の総出荷額 5 兆 6,169 億円で前年割れが続いている。印刷業者数、従業員数も減少し、明るい展望はない。印刷業は東京が全国を牽引する位置にあるが、25 年工業統計の東京都分の集計（従業員 4 人以上）においては、印刷・同関連業の状況では、事業所数 2,403 社（対前年△7.6%）、従業者数 5 万 1,373 人（対前年△7.4%）、出荷額 1 兆 141 億円（対前年△6.4%）と軒並み減少している。このマイナス幅は、都内全産業中でも突出している。いかに東京の印刷業が、苦境に立たされているかを示していると云える。

さて東京グラフィックスは、26 年 5 月総会において役員交代があり、「強い東グラになろう！」をキャッチフレーズに、新たな執行部によってスタートを切り、『情報・教育・交流・顧客との共生と新たな挑戦』をスローガンに掲げ、公益社団法人として 2 年目の活動に邁進してきた。組織を改編し、公益、事業、総務の 3 委員会を中心に個人情報保護委員会、ワークライフ・バランス推進委員会そして共済会、他に 2 つの自主研究会、青年部 FACE、女性の会レインボウ、OB による悠遊クラブが各々積極的に活動し、9 支部も活発な活動を志向した。なかでも 26 年 10 月から東京都課題解決型雇用環境整備事業に選定され、「ワークライフ・バランス事業」を推進することとなった。

具体的には、①認定個人情報保護団体の活動（セミナーの開催、苦情受付）、プライバシーマーク制度の推奨、情報セキュリティの強化、②マーケティング研究活動、③教育事業としては各支部と連携した各種研修会の実施、④昨年 10 月からスタートした「ワークライフ・バランス事業」を女性の活躍推進、高齢者の活用、若者の積極的採用と定着によって個々の会員企業の経営に元気を取り戻す企

業力・業績アップ、⑤ BCP 活動推進、地域防災計画の策定とセミナーの開催、他団体（港区）との連携促進、⑥環境経営の推進として日印産連グリーンプリンティング認定、環境優良工場表彰への対応、⑦印刷徹底講座として若手への技能・技術の継承を図った。

前年度から引き継いだ「ビジネスアイデアコンテスト」を実施し、会員から寄せられたアイデア 80 余点の中から自主研究会の「ポップアップ名刺」が第1位となった。これを受けて1社では具現化できない企画を業界としてバックアップする方策を検討している。

従来型の印刷需要が減少していく中でも自社を成長させるためには、環境変化に対応した強い会社へと生まれ変わることが必要となる。そのためには経営者が意識を転換し、自社の設備、技術を見直すことが重要であるという認識を新たにした1年であった。

他に自主研究会活動では、「社長講座」が年間を通してマイナンバー制度等の経営課題や、趣味・カルチャーなど幅広いテーマで勉強会を開催したほか、10月からは「印刷業界を取り巻く“パラダイムシフト”を乗り越えるための方策」を研究し、2～3カ年計画で自社の“売上1億円アップ”を目標に実践する勉強会「チャレンジ1億円！プロジェクト」を始動して、月1回の勉強会を開催した。「市場開拓自主研究会」では、『みんなで市場開拓をしよう』を合言葉に精力的に新規開拓と新商材の利用を研究し、名刺のプリントオーダー、ポップアップ名刺、AR技術、3Dプリンターの検討など、会員間の共同受注も志向した。

組織面では、加入促進キャンペーンを展開し、15社の新入会員を迎えたが20社退会で320社となり退潮傾向に歯止めはかからなかった。因みに、ジャグラは46社入会、退会39社で徐々に7社増となった。

なお、財政面では、会員減少とプライバシーマークの収入が予想を下回り、支出の抑制、人件費の減額を図ったが、赤字決算となった。

事務局機能については、個人情報保護活動に加え、会員ニーズに応え合理化に努め情報提供、委員会活動の充実に努め、会員サービスに引き続き努力した。

また平成27年がジャグラ創立60周年にあたり、6月の文化典が東京開催となることから、今期は、実行委員会を組織しその準備に尽力した。

東京グラフィックスでは以上のように厳しい状況で推移したが、事業計画に掲げた計画は概ね遂行し、当期を終えることができた。以下、事業毎に報告する。

II 事業報告

【公益目的事業1 個人情報保護の事業】

① 認定個人情報保護団体の活動〔定款（事業）第5条2〕

個人情報保護法に基づく認定個人情報保護団体として、都民・消費者と会員企業間での個人情報に関する苦情・相談を受け付け、解決へ向けた活動を行った。窓口として担当理事、個人情報保護委員会および事務局が、経済産業省、東京都、(一財)日本情報経済社会推進協会と協議しながら解決にあたるが、今期は相談事案のみ(5件)で苦情受付はなかった。

なお、プライバシーマーク指定審査機関はジャグラへ移行しているが、プライバシーマーク制度の普及のために、当会会員への審査業務活動は継続した。

今期は、ベネッセによる大量の個人情報漏洩事件が大きな社会問題となった。そこで経済産業省に

よる「個人情報保護ガイドライン」の改訂（12月）、また10年ぶりに個人情報保護法改正案が通常国会へ上程される等、個人情報保護をめぐる変化が起きた。さらに番号法（マイナンバー制度）の施行を前にその準備にも入った。

■ 認定個人情報保護セミナー

- ・開催日：11月25日 ・会場：ニッケイビル会議室 ・参加：32人
- ・テーマ：「個人情報保護のリスクマネジメントと法改正の動き……ベネッセ・ショックとマイナンバー制度」（講師：斎藤 成 東京グラフィックス専務理事）

■ 情報提供（機関誌「東京グラフィックス」26年4月号～27年3月号）

- ・連載：リスクマネジメントと個人情報保護・BCP
- ・内容：安全対策とウイルス対策、BCPからBCMへ、情報漏洩の安全対策、ヒト（責任者）の問題もリスク、個人情報って何、新規事業のリスク見直し、“ベネッセ・ショック”とリスク見直し、苦情処理への対応、営業秘密管理 再考、「マイナンバー制度」10月から実施Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ

【その他事業Ⅰ 環境保全・資源リサイクル等推進の事業】

② 環境保全・公害防止、資源リサイクル、節電の推進〔定款（事業）第5条4〕

公益委員会 CSR・環境グループは、ジャグラと合同で、事業を推進した。

環境保全・公害防止、資源リサイクルのため、グリーン購入法に基づく日印産連・オフセット印刷ガイドライン、PRTR法を含む各環境関連法令、東京都環境確保条例等の情報を、会員企業に紹介・周知し、遵守を促した。また、日印産連の環境優良工場表彰制度やグリーンプリンティング認証制度の普及と認証取得向上に向けて活動した。

【その他事業Ⅰ 環境保全・資源リサイクル等推進の事業】

③ BCP、地域防災計画の策定〔定款（事業）第5条5〕

公益委員会 CSR・CSR特別対策グループは、ジャグラと合同で、事業を推進した。
セミナー事業は計3回開催した。

■ 第1回セミナー

- ・開催日：9月16日 ・会場：ニッケイビル会議室 ・参加：20人
- ・テーマ：「防災」（講師：古家崎結一氏／東京都防災課）

■ 第2回セミナー

- ・開催日：11月11日 ・会場：ニッケイビル会議室 ・参加：20人
- ・テーマ：「首都水没」（講師：土屋信行氏／公益財団法人えどがわ環境財団理事長）
※土屋講師は『首都水没』著者。同著をテキストに使用。

■ 第3回セミナー

- ・開催日：2月13日 ・会場：ニッケイビル会議室 ・参加：20人
- ・テーマ：「パンデミック」（講師：増茂智氏／キャノンマーケティングジャパン(株)）

BCP 策定率向上事業として、BCP 書式を会員企業に配布した。また BCP 策定に関する支援活動を行った。具体的にはグループ長、事務局が会員企業を訪問し、BCP 実務の助言をした。また支援事業については各支部と連携して策定率向上に努めた。

事業の総括として 3 月 11 日、ニッケイビルにおいて BCP 事業発表会を開催し、今期、同事業で BCP を策定した会員企業 2 社（㈱東京文久堂、㈱向陽デジタルワークス）から策定に関しての経緯や感想について発表があった。なお、同事業で BCP を策定した会員企業に関しては、平成 27 年度定時総会の席上、表彰状を授与する予定。

【その他事業 2 文化の普及啓発および雇用安定・人材育成事業】

④ 雇用の安定、就業への協力（ワークライフ・バランス、新しい採用方法の研究）

〔定款（事業）第 5 条 3〕

26 年 10 月から東京都課題解決型雇用環境整備事業に選定され、事業を開始した。当業界にあっても、雇用問題は避けて通ることのできない課題の一つである。目的として、女性の活躍推進、高齢者の活用促進そして若者の採用手法等の検討を通じ、それらが関わりあって、職場の業務見直し・改善を行い、優秀な人材の確保、職場の改善活動に努め、企業経営に資することを目的に掲げた。

公益委員会の中に、ワークライフ・バランス推進委員会を設置し、“ワークライフ・バランスで企業力&業績アップ”をスローガンに、事前に経営者及び従業員へのアンケート調査を実施。雇用環境と従業員満足度調査を行った。委員会内に女性・高齢者・若者の 3 つの部会を設置、課題を抽出した。

地方の先進企業訪問をはじめ、2 回のセミナーを開催、若手従業員、女性幹部、人事担当者による座談会の実施、2 月に業務改善リーフレットの配布（A3）、3 月には事業の中間報告書（A4・78 頁）をまとめ、会員へ配布し、啓発を図った。

PR 活動では、11 月の東京都産業交流展、2 月の page2015 展へ出展し、本事業を内外にアピールした。印刷業をめざす就活生には、委員と事務局で大学・専門学校 39 校を訪問、page 展の会期中には就活生向けに業界説明会も実施した。WLB セミナーの講演はジャグラ BB で放映。

◎ セミナー・説明会等

■ キックオフセミナー

- ・開催日：12 月 2 日
- ・会場：ニッケイビル会議室
- ・参加：20 人
- ・テーマ：「ワークライフ・バランスで企業力アップ」
- ・内容：若者の就労活動、従業員アンケートの分析、女性の求人、各種助成金制度の紹介、パート労働者の課題
- ・講師：一川健二氏（インフィニット HR）、神田幸男氏（コンサルティング・オフィス、中小企業診断士）、天野徹氏（東京しごと財団）、園田智子氏（東京都労働情報相談センター）

■ WLB セミナー

- ・開催日：2 月 26 日
- ・会場：東京都秋葉原庁舎会議室
- ・参加：30 人
- ・内容：【基調講演】ワークライフ・バランスと経営戦略（講師：木谷宏氏／麗澤大学教授）、【問題提起①】高齢者活用の着眼点（講師：望月由佳／特定社労士）、【問題提起②】従業員満足と課題（講師：神田幸男氏／コンサルティング・オフィス、中小企業診断士）

■ 学生向け印刷業界説明会

- ・開催日：2月5日
- ・会場：池袋・サンシャイン会議室
- ・参加：80人
- ・内容：①印刷業で働くということ（講師：一川健二氏／インフィニット HR）、②印刷業界の力量（講師：影山史枝氏／スイッチ・ジャグラ DTP 教室講師）

◎ 情報提供（機関誌「東京グラフィックス」27年1月号、3月号）

■ 1月号 若手座談会（11月27日開催）

- ・出席：仲俣岳樹氏（日経印刷㈱第一営業部）、竹中紫穂氏（㈱緑陽社 営業部）、大津宙氏（㈱明光社 営業）、高橋沙織氏（㈱グッドクロス 制作部）、一川健二氏（インフィニット HR コンサルタント）＝司会

■ 3月号 ①女性幹部座談会（1月26日開催）

- ・出席：吉澤和江氏（㈱太陽堂封筒 社長、ワークライフ・バランス委員会女性部会）、藤本侑季氏（㈱文伸 営業部長）、矢島丈代氏（タナカ印刷㈱ 制作2課長）、森さとみ氏（㈱向陽デジタルワークス 総務部長）、木谷宏氏（麗澤大学経済学部教授）＝司会

■ 3月号 ②人事担当者座談会（2月10日開催）

- ・出席：藤田尚郎氏（日経印刷㈱ 総務部長）、坂入英治氏（㈱加藤文明社印刷所 常務）、三浦道行氏（第一資料印刷㈱ 新卒採用チーム）、一川健二氏（インフィニット HR コンサルタント）＝司会

◎ 地方先進企業訪問

- ・新潟・昭栄印刷㈱（12月12日）（参加：野上委員長、中村真委員、吉野職員）
- ・神奈川・㈱野毛印刷社（1月16日）（参加：笹岡副会長以下10委員）

◎ 学校訪問（39校）

- ・実施期間：平成26年11月～27年2月
- ・訪問者：一川健二委員、斎藤成専務理事、吉野玲緒職員
- ・訪問先：【大学】東洋大学、駒沢大学、拓殖大学、昭和女子大学、跡見女子大学、専修大学、二松学舎大学、東京工芸大学・芸術学部(中野区)、大東文化大学、東海大学・情報通信部、東京経済大学、玉川大学、東京女子大学、明治学院大学、清泉女子大学、東京電機大学、城西大学、東京国際大学、近畿大学・東京センター、松山大学・東京センター、立命館大学・東京センター、同志社大学・東京センター、東海大学、東京工芸大学工学部、千葉工業大学、神奈川大学、フェリス女子大学、関東学院大学、西武文理大学、東京国際大学、千葉工業大学、関東学院大学、西武文理大学、聖学院大学／【専門学校】サレジオ工業高等専門学校、町田・デザイン専門学校、東洋美術専門学校、東京デザイン専門学校（順不同）

【会員の経営力支援強化事業】

⑤ 教育・技術セミナー等の開催

◎ 平成26年度技術・技能継承事業〔定款（事業）第5条3〕

公益委員会技術グループは、東京都中小企業団体中央会の平成26年度技術・技能継承として印刷技術の講座「印刷徹底講座」（全9回）を企画・実施した。この講座の内容は平成25年度技術・技能継

承事業で作成した「印刷技術職・営業職のための印刷読本」を活用して企画した。

10月4日に第1回（座学）、第2回（同）をニッケイビルにおいて開催した。講師は第1回が木下堯博氏、第2回が三浦澄雄氏で参加者はそれぞれ15人。10月18日に第3回（座学）、4回（同）をニッケイビルにおいて開催した。講師は第3回が小早川亨氏、第4回が影山史枝氏。参加者はそれぞれ15人。10月25日に第5回（座学）をニッケイビルにおいて開催した。講師は吉岡東吾氏、笹岡誠氏、菅野潔氏。参加者は15人。

第6～9回は実技編として、賛助会員に協力を仰ぎ、賛助会員各社の会議室やデモルームを利用した。第6回は11月1日モリサワで開催、参加者は10人。第7回は11月15日に富士フイルムグローバルグラフィックシステムズで開催、参加者は10人。第8回はリョービMH I グラフィックテクノロジーで開催、参加者は10人。第9回はホリゾン東テクノで開催、参加者は10人。実技では実際に印刷関連機器を使用し、例えば CTP 出力の実演や、モノクロ、カラー印刷機については自分たちの手でスパナを持ち、版のセット、印刷機の稼働、検討の調整まで実地で学んだ。製本工程では、丁合機、断裁機の安全装置を確認しながら、タッチパネルでの数値入力と微調整を学び、機械側でのオートメーション機能の進歩を理解した。

◎ セミナー事業【定款（事業）第5条5】

事業委員会教育グループは、会員企業および一般都民を対象に、さまざまなテーマでセミナーを企画・運営した。平成26年度（26年4月～27年3月）は、7タイトル開催し、延べ203人が参加した

■ セミナー「知っておきたい特殊印刷・加工⑤光沢加工」

・日 時：5月21日 ・会 場：ニッケイビル ・主 催：城西支部
・参 加：29人 ・講 師：工藤久敏氏、大島一夫氏

■ セミナー「あなたの会社を守る『就業規則』と『ワークルール』」

・日 時：6月18日 ・会 場：ニッケイビル ・主 催：城南支部
・参 加：23人 ・講 師：松山純子氏

■ セミナー「補助金と助成金のノウハウ大公開!!」

・日 時：8月28日 ・会 場：ニッケイビル ・主 催：文京支部
・参 加：27人 ・講 師：大西俊太氏、松山純子氏

■ セミナー「知っておきたい特殊印刷・加工⑥カード印刷」

・日 時：9月25日 ・会 場：ニッケイビル ・主 催：中央支部
・参 加：39人 ・講 師：中田逸郎氏

■ セミナー「事業承継の準備と相続税増税」

・日 時：10月16日 ・会 場：ニッケイビル ・主 催：教育グループ
・参 加：14人 ・講 師：山崎健介氏、田村吉央氏

■ セミナー「Facebook & Twitter で商売繁盛！」

- ・日 時：1月28日
- ・会 場：ニッケイビル
- ・主 催：新宿支部
- ・参 加：31人
- ・講 師：高畑 卓 氏

■ セミナー「“キレイ”な会社にお金は集まる！」

- ・日 時：2月25日
- ・会 場：ニッケイビル
- ・主 催：千代田支部
- ・参 加：40人
- ・講 師：有賀 照枝 氏

◎ 技術講習会等の開催〔定款（事業）第5条3〕

事業委員会は、東京都立中央・城北職業能力開発センターと協働して、会員企業の従業者向けにブリプレス～印刷の技術習得・向上を目的とした講習会を開催した。

■ 「フレッシュマンス・テップアップ講座」

- ・開催日：6月30日、7月3日、7月7日、7月10日、7月14日、7月17日
- ・会 場：東京都立中央・城北職業能力開発センター
- ・参 加：11人
- ・内 容：社会人としてのビジネスマナー、印刷の基礎知識、他
- ・講 師：東京都講師他

■ 「DTP・印刷実践講座」

- ・開催日：10月3日、10月6日、10月10日、10月17日、10月20日、10月24日
- ・会 場：東京都立中央・城北職業能力開発センター
- ・参 加：13人
- ・内 容：PDF作成・処理実習、カラー印刷実習、他
- ・講 師：東京都講師他

■ 「カラー印刷基礎講座」

- ・開催日：1月9日、1月14日、1月16日、1月21日、1月23日、1月28日
- ・会 場：東京都立中央・城北職業能力開発センター
- ・参 加：8人
- ・内 容：Photoshop、Illustrator、InDesign 実習とカラー印刷基礎
- ・講 師：東京都講師他

また、同センターと、当会・東京都印刷工業組合・東京グラフィックコミュニケーションズ工業組合の3団体の協働で、技術講習会（オーダーメイド講習）を開催したほか、同センターの各種キャリアアップ講習の周知・参加呼びかけを行った。

【都民へのグラフィックサービス事業の紹介】

⑥ 都民のための印刷相談業務〔定款（事業）第5条1〕

総務委員会は、東京グラフィックスのホームページおよび機関誌「東京グラフィックス」により、都民への印刷技術の普及啓発および情報発信について広く公開した。

事務局にて、各種印刷や自費出版等に関連する相談業務にあたった。

また、各行政区レベルの産業展等（台東区「モノマチ」、中央区「へそ展」、文京区「ぶんぱく」など）における“印刷”の普及啓発活動への協力・情報発信を行った。

【都民へのグラフィックサービス事業の紹介】

⑦ 「ビジネスアイデアコンテスト2014」の実施〔定款（事業）第5条5〕

総務委員会が所管し「ビジネスアイデアコンテスト2014」を実施した。

10月から募集を開始し、会員企業および一般に応募を呼びかけた（一般からの応募は会員企業経由）。11月末に募集を締め切り、計84作品の応募があった。一次審査を経て最終候補を13作品に絞り、12月17日に候補者によるプレゼンテーションおよび最終審査を行った。6作品が入賞し、平成27年1月15日、東京グラフィックス新春賀詞交歓会の席上、表彰式を執り行った。

- ・1位：オンデマンドPOP UP名刺 and AR名刺（市場開拓自主研究会）
- ・2位：社員証Web自動受注システム（㈱研美社）
- ・3位：お花屋さんのメッセージカード（㈲北村紙店）
- ・3位：ミニ知識メモ（西武写真印刷㈱）

なお、前年度の入賞作品については、11月の東京都産業交流展、2月のpage2015において、一般都民に向けて紹介・PRした。

【会員の経営力支援強化事業】

⑧ 経営・マーケティング強化事業〔定款（事業）第5条5〕

事業委員会マーケティンググループは、ジャグラと合同で、事業を推進した。

東京五輪に向けた印刷・グラフィックサービス業の関わりを模索し、業界からの情報発信を目的にコンテンツの収集・研究（各地域の観光情報等）を開始したところである。

前年度にジャグラが購入した3Dプリンターに続き、今期は3Dスキャナーを購入した。会員企業への貸し出しを行った。また、3Dプリンターの印刷・グラフィックサービス業における活用方法について、情報収集・研究を開始したところである。

ARの印刷・グラフィックサービス業における活用方法について、情報収集・研究を開始したところである。

リコージャパン㈱から貸与された、全天球カメラです「THETA」の印刷・グラフィックサービス業における活用方法について、情報収集・研究を開始したところである。

【その他事業2 文化の普及啓発および雇用安定・人材育成事業】

⑨ キャリア形成促進助成金事業「OJT付き訓練」への協力〔定款（事業）第5条3〕

ジョブカード制度を延長する形で、今期も日本プリンティングアカデミーにおいてoff-JT（1か月）、自社に戻ってOJT（5か月）を実施した。参加企業は1社（日経印刷㈱・15人）。

【その他】

⑩ 組織の強化〔定款（事業）第5条5〕

総務委員会が所管して、組織拡大のための入会勧誘活動を実施した。特に1月から3月を加入促進強化月間とし、入会当月および入会翌月から3か月間の会費免除を打ち出し、キャンペーンを実施した。

15社の新入会員を迎えたが、20社退会で320社（3月末時点）となり退潮傾向に歯止めはかからなかった。来期も引き続き、総務委員会と各地域が連携して入会勧誘活動を実施していく。

なお、城北地域の会員は、「城北支部」休会のため他の地域（支部）の所属となった。

【都民へのグラフィックサービス事業の紹介】

⑪ 広報活動〔定款（事業）第5条5〕

総務委員会は、東京グラフィックスのホームページおよび機関誌「東京グラフィックス」により、当会の活動紹介および情報提供を、一般都民に広く公開した。

また、11月の東京都産業交流展、2月のpage2015、各行政区レベルの産業展等（台東区「モノマチ」、中央区「へそ展」、文京区「ぶんぱく」など）において、当会の活動紹介および情報提供を、一般都民に広く公開した。

会員へは、ホームページ・機関誌・メールニュース・一斉ファクシミリなどで、当会活動をはじめ経営・技術面の情報提供を随時行った。

【会員の経営力支援強化事業】

⑫ 青年部・自主研究会等の活動〔定款（事業）第5条5〕

◎ 青年部「FACE」の活動

FACEは5月8日の総会で役員が一新し、平成26年度事業、予算を承認した。

3月を除いて月1回開催した定例会では、「オトナ勉強会」「5分間プレゼン+販売促進会議」を基調事業として実施し、毎回メンバーが幹事となって推進した。女性の会レインボウとの連携も活発化し、11月13日、新宿区の会議録研究所会議室で開催した美文字勉強会にはFACEから児玉年史副会長、山田陽子氏が参加した。参加者は10人。11月26日、ニッケイビルにおいて共催で「販促提案型カレンダーの活用術セミナー」を開いた。講師は河島弘司氏。参加者は30人。

ほかレクリエーションとして、すだて（6月29日）を実施した。参加者は20人。

FACEだけでなく、参画している印刷産業青年連絡協議会、ジャグラススペース21への役員派遣、行事参加（総会、全国協議会等）を積極的に行った。

◎ 「女性の会レインボウ」の活動

主な事業として、定期的に勉強会を開催した。前期に続き「美文字勉強会」を中心とした事業を展開した。回数は、年4回で開催場所は新宿区の会議録研究所会議室、参加者は毎回10人。講師はいずれも書道家の花井政美氏。今期は特にFACEとの連携を強化し11月13日の美文字勉強会にはFACEから児玉年史副会長、山田陽子氏が参加した。

さらに11月26日、ニッケイビルにおいてFACEと共催で「販促提案型カレンダーの活用術セミナー」を開いた。講師は河島弘司氏。参加者は30人。

3月13日（金）、千代田区・学士会館において、平成26年度総会を開催した。本部からは野上光之副会長、吉野主計相談役が来賓として出席した。出席人数は来賓合わせて10人。

◎ 自主研究会「社長講座」の活動

東京グラフィックス自主研究会「社長講座」は会員有志の自主的な勉強会として、経営問題だけでなく、文化・芸術など多彩なテーマでセミナー・研修会を開催し、セミナーは会員や一般都民にも開放している。

2014年度メンバーは19人。定時総会は6月19日、中央区銀座「天厨菜館」にて開催した。参加11人。

■ 藝術セミナー「『オルセー』がやってきた！」

- ・開催日：7月24日
- ・会場：ニッケイビル会議室
- ・参加：18人
- ・内容：「オルセー美術館展」の解説、美術作品鑑賞（講師：佐藤よりこ氏・美術史家）

■ セミナー「グラフィックサービス勝ち残り戦略」

- ・開催日：10月7日
- ・会場：ニッケイビル会議室
- ・参加：15人
- ・内容：印刷業界を取り巻くパラダイムシフトに負けないための方策（講師：山下潤一郎氏）

■ 藝術セミナー「目からウロコの『西洋美術のすべて』」

- ・開催日：12月6日
- ・会場：ニッケイビル会議室
- ・参加：15人
- ・内容：西洋美術の体系的解説、美術作品鑑賞（講師：佐藤よりこ氏・美術史家）

■ セミナー「マイナンバー制度の概要と注意点」

- ・開催日：2月24日
- ・会場：ニッケイビル会議室
- ・参加：18人
- ・内容：マイナンバー制度の概略（講師：斎藤成専務理事）

■ 「チャレンジ1億円！プロジェクト」

「印刷・グラフィックサービス業は本当に尻すぼみなのか？」との視点から“パラダイムシフト”を乗り越えるための方策を研究し、2～3カ年計画で自社（企業規模関係なく小規模・零細でも）の「売上1億円アップ」を目標に実践する。また、売上アップの取り組みを通じて、参加企業が再び自信を持てるようにすることを目的に、月1回の勉強会（第1期10月～3月）を開催した。講師は山下潤一郎氏（Brighter Later）が務め、講師のレクチャー、参加者のディスカッション、課題（宿題）の作成と発表を中心に、ゼミ形式で研究を進めた。プロジェクト参加は、社長講座メンバーを中心に10社。

- ・第1回（10月21日）：ターゲット顧客を明らかにしよう！
- ・第2回（11月12日）：自社の武器を磨き直そう！販促物編
- ・第3回（12月10日）：既存ターゲット顧客を攻めよう！①
- ・第4階（1月14日）：既存ターゲット顧客を攻めよう！②
- ・第5回（2月18日）：新規ターゲット顧客を攻めよう！
- ・第6回（3月11日）：まとめ・各社事例発表

◎ 「市場開拓自主研究会」の活動

ほぼ月1回、計11回の会合を開催した。賛助会員と協力し商材開発、販路開拓を主とした研究テーマに掲げて活動した。見学会では10月29日に高田紙器製作所のPOP UP商品の生産工程を見学した。参加者は10人。

見学会を契機とした研究会独自のPOP UP商品の開発を進め、既存の研究テーマであったAR事業と組み合わせ、POP UP名刺の商品化に注力した。同名刺は東京グラフィックスが主催するビジネスアイデアコンテストに応募し、第一位を獲得した。またAR事業の横展開として、古地図を活用した新しい企画として地図とARが連動した古地図の開発を進め、この事業は平成27年度前半まで継続して進めることとなった。

【その他】

⑬ その他〔定款（事業）第5条5〕

◎ 賛助会員懇談会

総務委員会は、東京グラフィックス賛助会員懇談会を11月13日、スクワール麹町において開催した。参加者は賛助会員・理事・委員55人。東京グラフィックスの事業・取り組みを賛助会員に報告し、東京グラフィックスへの理解を深めてもらうことが目的。

◎ 新春賀詞交歓会

公益社団法人東京グラフィックサービス工業会の2015年新春賀詞交歓会は1月15日、文京区関口の「椿山荘」において開催された。参加者は230人。

同席上にて、東京グラフィックスフェスタ・ビジネスアイデアコンテストの表彰式を開催した。